

国際化学肥料ニュース（2024年8月）

肥料業界の2024年8月動態

- * 8月第1週（7月29日～8月4日）の尿素国際相場は弱気を示している。中東産大粒尿素的の南米向けに2件契約あり、そのFOB価格が340～345ドル/トンに下落した。パキスタンが7月29日に開札された尿素国際入札に契約したCFR358.99ドル/トンで15万トン契約した。ナイジェリアDangote社が行った3万トンの大粒尿素販売入札には最高応札価格がFOB320ドル/トン未満なので、その入札をキャンセルした。大粒尿素的のCFRブラジル価格が350～355ドル/トンに下落して、FOBアメリカNola価格も307～317ドル/トンに下がった。
- * 7月31日、バングラデシュ政府は10万トン化学肥料と1万トンりん酸の輸入を許可した。その内容はKAFCO社が中東からCFR330.5ドル/トンで3万トン袋包装尿素、Fertiglobe社が中東からCFR343.17ドル/トンで3万トンバルブ尿素、BADC社がサウジアラビアMA'ADEN社からCFR550ドル/トンで4万トンDAP、BCIC社が中国からCFR570ドル/トンで1万トンりん酸を輸入する。ただし、反政府デモによりバングラデシュ総理の辞任とインド脱出したことで、計画通りに行かない恐れがある。
- * タイは2024年1～6月に140万トン尿素を輸入した。中国からの輸入がゼロとなり、マレーシアからの輸入量も41%減少したが、代わりに中東とブルネイからの輸入が急増した。特にブルネイ産尿素的の輸入量が10万トンを超え、前年同期より倍増した。政府はコメの増産と輸出を促進するため、化学肥料販売補助金の創設を計画している。
- * 8月第2週（5～11日）の尿素国際相場は引き続き下落している。東半球では中東産大粒尿素的のFOB価格が340～345ドル/トンに安定しているが、東南アジア地域ではブルネイ産尿素的の出現で、マレーシア産大粒尿素的の8月輸出枠に余裕が出て、値下げ販売しかない状態となっている。イランでは外貨稼ぎが急務で、メーカー3社は割安のFOB290～296ドル/トンで18万トン大粒尿素的を販売した。

一方、西半球の値下がりが激しくなっている。エジプトのEU向け大粒尿素的はFOB価格345～355ドル/トンを要求したが、全く相手にされなかった。アルジェリア産大粒尿素的のFOB価格が325～350ドル/トンに値下げした。ナイジェリアDangote社は8月生産の尿素的は全く販売先を見つからず、再度販売の国際入札を行っている。大粒尿素的のCFRブラジル価格が345～350ドル/トン、CFRアルゼンチン価格も365～370ドル/トンに下落した。アメリカに至っては、需要期が過ぎたため、FOB Nola 価格が305～312ドル/トンに大幅下がった。

- * インドからの速報によれば、モンスーン（季節風）降雨量の増加で、農業生産が進んで、7月の尿素販売量が465万トンに急増し、前年同期より13万トン多い。国内生産量も前年同期より17万トン多い265万トンである。ただし、販売量の急増で、国内尿素在庫量が6月末の1100万トンから7月末に900万トンに減少し、8月末には870万トン以下に減少する見通しである。インド RCF 社は8月中旬に再び尿素国際入札を行い、70～100万トン尿素を購入する噂がある。

- * パキスタン TCP 社が行った尿素国際入札の7月29日開札した結果、6社が応札し、最低応札価格は West Trade 社の CFR カラチ 358.99 ドル／トンである。TCP 社は15万トンを契約して、最初の尿素が8月16日にカラチ港に到着する見込みである。

- * パキスタン工業省の10万トン尿素を輸入する案は8月2日に開かれた経済協調委員会（ECC）に於いて許可されたが、6日の連邦政府内閣会議に逆に否決された。パキスタンのシャリフ首相は国内農業を守るために、肥料の輸入ではなく、国内生産に重点を置くべきだと指示した。連邦政府内閣会議は外貨を尿素ではなく、天然ガスなどの輸入に使うべき、2024年9月以降国内の化学肥料工場への天然ガスの安定供給を優先して、国内生産量を増加するとともに各関係機関に尿素の販売価格上昇を抑えることを指示した。

- * ブラジルの Petrobras 社は子会社のアラウカリア・ニトロゲナドス SA（ANSA）肥料工場の操業を再開するために8億7000万リアル（約1億5670万ドル）を投資すると発表した。ブラジル Parana 州にあるこの肥料工場は年間生産能力尿素72万トン（ブラジル国内需要量の約8%）、アンモニア47.5万トン、アドブルー45万 m³ で、生産コストの関係で2020年から休止状態にあり、2024年6月に再開が承認された。生産は2025年後半に開始される予定である。

- * 8月第3週（19～25日）の尿素国際相場は西半球と東半球が異なった動きが現れた。西半球では EU の尿素需要回復で値上げに転じた。エジプトは FOB340～350 ドル／トンで3万トン以上の大粒尿素を EU 向けに、アルジェリアも FOB350 ドル／トンで2万トン以上の大粒尿素を EU 向けに販売した。ただし、ナイジェリア Dangote 社の大粒尿素3万トンの販売入札には FOB326～327 ドルで契約した。CFR ブラジルの価格も週初めに350ドル／トンであったが、週末には340ドル／トンに下がった。アメリカの FOB Nola も305～317ドル／トンで安定している。
一方、東半球では、需要不足で中東大粒尿素の FOB 価格が330～340ドル／トンに下落し、イランの2社は FOB297ドル／トンで3回計8万トン以上の大粒尿素を販売した。

- * 中国税関の速報によれば、2024年7月中国化学肥料の輸出量が10.4%増の307万トン、その内訳は硫安が27%増の141万トン、尿素が75%減の8万トン、DAPが増減なしの51万トン、MAPが25%増の25万トン。尿素はすべて両国間政府援助の形で輸出された。
一方、7月の中国化学肥料輸入量が25.4%減の85万トン、その内訳は塩化加里が28%減の72万トン、NPK化成肥料が28.6%減の10万トン。
- * 8月14日、インドNFL社は尿素国際入札を行った。8月29日締切りと開札、購買数量未定、10月31日まで船積みという条件である。これは6月下旬インドIPL社が行った尿素国際入札以来の今年3回目の尿素国際入札である。
- * ブラジル税関の速報によれば、2024年6月と7月の化学肥料輸入量がそれぞれ420万トンと450万トンに達した。その最大の輸入先はロシアで、7月のロシア肥料輸入量が新記録の114万トン、3ヶ月連続で100万トンを超えた。2番目の輸入先は中国で7月の中国肥料輸入量78.34万トンだが、ほとんど硫安である。ほかにカナダから69.7万トン、エジプトから29万トン、モロッコから28.1万トン化学肥料を輸入した。ブラジルは世界有数の農産物生産と輸出大国で、主に大豆とトウモロコシを輸出している。
- * 中国からの噂によれば、中国政府はインド向けのDAP輸出を規制して、最近各地税関がDAPのインド向け輸出申請を受け付けしないことが判明した。また、武漢税関はDAPの輸出「法定検査」の期間を30日に伸ばすことを通達した。
- * 中国は7月9日にロシアのUralkali社と2024年度の塩化加里基本契約を締結してからすでに50日経過して、イスラエルのICP社だけが同じ条件（CFR273ドル/トン）で中国と基本契約を締結したが、カナダとベラルーシは基本契約の締結を拒否し続けている。これは中国の塩化加里輸入に不安定な要素となる恐れがある。
- * インドの調査会社Crisil Ratings社（アメリカS&P Global社の子会社）のレポートによれば、インド尿素産業は新しい生産設備の完成と既存生産設備の改修と再稼働により、国内尿素生産量が需要量に追い付くようになって、輸入尿素への依存度は2020～2021年度の30%から2024～2025年度の10～15%に減少するだろう。また、2025年にさらに1か所の新規尿素生産設備が完成し、稼働する見込みで、輸入への依存度がさらに下がるだろうと報告する。なお、2024年1月から8月までにインドの尿素国際入札が3回で、未開札の3回目を除き、第1回の契約数量34万トン、第2回の契約数量43.4万トンの合計77.4万トンしかなく、平年より大幅に減少した。

- * 8月16日、インド FACT 社は 15-15-15 化成肥料の国際入札を発表した。9月5日締め切りと開札、購買数量は東海岸 Kakinada 港 2 万トン、南部 Tuticorin 港 2 万トンの計 4 万トン、11月10日まで納品という条件である。FACT 社は 7 月末に同じ化成肥料の国際入札を発表したが、8月9日締め切りに応札がなかったため、再度国際入札を行うことになる。
- * 8月第5週（26～9月1日）の尿素国際相場は下がる圧力が強くなっている。東半球では売り手と買い手は皆インドの尿素国際入札の結果発表を待っている。中東産大粒尿素的の FOB 価格が 325～335 ドル／トンで売り出しているが、買手が表れていない状態である。イラン Pardis 社は FOB303 ドル／トンで 10 月引渡しの 5 万トン大粒尿素有を販売した。西半球ではナイジェリア Dangote 社は再び FOB320 ドル／トンで 3 万トン大粒尿素有を南米に販売した。エジプトの NCIC 社は大粒尿素有を FOB340～350 ドル／トンで売り出したが、契約したのは 5000 トンしかなかった。週末にブラジルの大粒尿素有の CFR 価格が 340 ドル／トン、アメリカの FOB Nola 価格が 303～309 ドル／トンに下がった。
- * 今年に入って、マレーシア Petronas 社の尿素工場が頻繁に故障を発生して、1～6月の上半期尿素輸出量 90.54 万トン、去年同期より 10%減少した。生産能力 70 万トンの Bintulu 工場は 2 月、5 月上旬と 6 月下旬に 3 回も故障を発生し、毎回 2 週間以上の稼働停止となった。生産能力 69.3 万トンの Gurun 工場も 5 月中旬に 2 週間稼働を停止した。それにより、今年 3 月から東半球の FOB 価格が西半球より高い状態が続いている。
- * 7 月末中国政府がインド向けの DAP 輸出を厳しく規制することを受け、インド側は急遽モロッコから多量の DAP を購入した。8 月だけモロッコの OCP 社から CFR620 ドル／トンで 51 万トン DAP を購入して、9～11 月に輸入される予定である。
- * カナダ鉄道労働組合（TCRC）のストライキ予告を受け、カナダ鉄道（CN）は 8 月 20 日から加里肥料の鉄道輸送を一時停止すると発表した。また、カナダ鉄道労働組合は予告通り 8 月 22 日からストライキを実施している。それにより、アジア向け加里の輸出港バンクーバー港の加里輸出が遅延する可能性が高くなっている。
- * 8 月 28 日に締め切りのインド NFL 社の尿素国際入札に 22 社応札し、西海岸向けの応札量 197 万トン、東海岸向けの応札量 186 万トンの計 387 万トン。最低応札価格は OQ Trading 社の CFR 西海岸 340 ドル／トン、Ameropa 社の CFR 東海岸 349.88 ドル／トンである。尿素有の国際市況の低迷を受け、最低応札価格は前回 7 月 8 日開札された

価格と比べて、CFR 西海岸では 10.5 ドル／トン、CFR 東海岸では 15.12 ドル／トン下がっている。

大手各社の営業業績

- * カナダの Nutrients 社は 2024 年上半期の業績を発表した。肥料価格の下落で、売上高が 12%減の 155 億 4500 万ドル、EBITDA が 16%減の 32 億 9000 万ドル、純利益が 46%減の 5 億 5700 万ドル。各肥料部門の業績では、加里部門の販売量が 15.9%増の 697.6 万トン、売上高が 22%減の 15 億 6900 万ドル、窒素部門の販売量が 1.8%増の 532.5 万トン、売上高が 23%減の 19 億 3900 万ドル、りん酸部門の販売量が 6.2%増の 120.4 万トン、売上高が 18%減の 8 億 3100 万ドル。
- * アメリカの Mosaic 社は 2024 年上半期の業績を発表した。肥料価格の下落で、売上高が 21.5%減の 54 億 4960 万ドル、粗利益が 36.1%減の 7 億 9320 万ドル、純利益が 36.2%減の 2 億 1900 万ドル。肥料の販売量は、加里肥料 450 万トン、りん安（DAP + MAP）330 万トン、化成肥料販売量 390 万トンである。
- * イスラエルの ICL 社は 2024 年第 2 四半期の業績を発表した。売上高が 6.2%減の 17 億 5200 万ドル、EBITDA が 14.5%減の 3 億 3700 万ドル、純利益が 29.4%減の 1 億 1500 万ドル。売上と純利益が減少した理由は加里肥料販売量の減少と価格下落である。第 2 四半期の塩化加里販売量が 8.6%減の 115 万トン、平均販売価格が 26%減の 300 ドル／トンである。

肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- * インドネシアの ESSA 社はアフリカタンザニア政府のタンザニア投資センター（TIC）、タンザニア肥料規制局（TFRA）、石油開発公社（TPDC）との間にタンザニア南部の Mtwara 市に肥料工場を建設する覚書を締結した。当該プロジェクトは天然ガスを原料に尿素を生産するもので、2027 年までに着工、2029 年に完成と稼働する。
- * アメリカの Mosaic 社はカナダ Saskatchewan 州にある世界最大の Esterhazy 加里鉱山の長期点検に伴う生産量の減少を備えるため、7 月から同じ Saskatchewan 州にある Colonsay 加里鉱山の全面稼働を再開させた。2022 年 12 月、高コストと需要減という理由で、Colonsay 加里鉱山の稼働を縮小した。全面稼働の再開により年間 100~150 万トン塩化加里の増産が見込まれる。
- * ブラジルの Brazil Potash 社は完全子会社の Potássio do Brasil を通じて、Autazes 加里プロジェクトの建設に必要なすべての許可とライセンスを取得したと発表した。

Autazes 加里プロジェクトは Amazonas 州 Autazes 市にあり、年間生産能力 220 万トン塩化加里、26 億ドルを投資して、2026 年に完成し、稼働する計画である。

- * 中東カタールの Qatar Energy 社はカタールの尿素生産量を 2 倍以上に増やすため、新たな世界規模の尿素生産施設を建設する決定を発表した。このプロジェクトはドーハの南 40km に位置するメサイド工業地域に 4 つの新しい世界規模の尿素生産ラインと 3 つのアンモニア生産ラインを建設する内容である。完成すれば、カタールの尿素生産量は現在の年間約 600 万トンから 1240 万トンへと 2 倍以上に増加する見込みである。プロジェクトへの投資額と着工時期が未定で、今世紀の半ばから稼働始まると予想される。
- * オーストラリアの Incitec Pivot Fertilisers (IPF) 社はビクトリア州ポートランドにある BB 配合肥料設備と関連の肥料倉庫、配送施設の増設と更新を完成し、稼働始めると発表した。この工場は 1968 年クレスコファーティライザーズ社によって肥料製造工場として初めて稼働し、1972 年に IPF 社に売却された。IPF 社は 2,000 万豪ドルを投資して、1 時間最大 300 トン BB 配合肥料を作るようになり、ビクトリア州と南オーストラリア州に年間 20 万トン以上の肥料を出荷する。

その他

- * オーストラリアの Woodside Energy 社は OCI Clean Ammonia 社の株式 100% とアメリカのテキサス州 Beaumont に建設中の低炭素アンモニアプロジェクトを約 23 億 5,000 万ドルの全額現金で買収することを発表した。現在建設中のフェーズ 1 のアンモニア生産能力は年間 110 万トン、160 万トンの CO₂ を削減する能力があり、2025 年からアンモニア、2026 年から低炭素アンモニアの生産を目標としている。次のフェーズ 2 もアンモニア生産能力は年間 110 万トン、160 万トンの CO₂ を削減する能力があるという。生産される低炭素アンモニアは、発電、船舶燃料、工業用原料として利用する。
- * イギリスの Navigator Gas 社と投資ファンドの Attis Clean Energy はアメリカテキサス州で輸出用のクリーンアンモニアを生産する Ten08 に共同投資すると発表した。Ten08 はテキサス州に年間最大 140 万トンブルーアンモニアとグリーンアンモニアのプロジェクトを実施して、その第 1 フェーズは、2029 年後半から 2030 年初めに操業を開始する予定である。
- * カナダの鉄道労使交渉が難航して、ストライキによる鉄道輸送が停滞する恐れが出てきた。8 月 8 日鉄道労働組合 (TCRC) は声明を発表し、労使合意に至らなければ、早ければ 22 日からストライキを開始する方針を示した。これに対して、カナダ鉄道

(CN) とカナダ太平洋カンザスシティ (CPKC) は職場のロックアウトで対応すると発表した。カナダ肥料協会は鉄道の混乱がすでに肥料輸送に悪影響を与えていると警告して、政府に対して鉄道の全関係者が合意に達するのを支援するため、鉄道労働組合によるストライキ行為と鉄道側のロックアウト行為を両方とも禁止する拘束力のある仲裁命令の発令を含む即時の措置を取るよう求めている。鉄道ストライキによりカナダ産加里肥料の輸出が阻害される可能性が大きい。

- * 8月22日午前0時1分、カナダ鉄道 (CN) とカナダ太平洋カンザスシティ鉄道 (CPKC) はカナダ鉄道労働組合 (TCRC) に対して、ロックアウト通知を送付した。それを受け、カナダ鉄道労働組合も8月22日午前0時にカナダ鉄道とカナダ太平洋カンザスシティ鉄道にストライキ通知を送付した。カナダで生産され使用される化学肥料の75%は鉄道輸送に依存して、1日平均69,000トンの肥料が鉄道に輸送される。ストライキにより、肥料業界は物流費や運営費を除いて、1日あたり推定5,500万~6,300万ドルの売上損失を被ると予想される。カナダ肥料協会は連邦政府にストライキとロックアウトを拘束力のある即時措置で禁止することを要請している。
- * ノルウェーの Yara 社はアフリカのコートジボワールのすべての肥料事業を売却し、戦略的投資撤退を発表した。
- * デンマークの Topsoe 社は Skovgaard Energy 社 および Vestas 社と共同でデンマークの Ramme に建設している実証用グリーンアンモニア工場が完成し、稼働始まると発表した。太陽光発電と風力発電で得た再生可能なエネルギーを利用して年間5000トングリーンアンモニアを生産する。
- * オランダの OCI Global 社はアメリカアイオワ州 Weaver 郡にある大型窒素肥料工場 Iowa Fertilizer Company LLC の100%間接権益を Koch Ag & Energy Solutions 社に36億ドルで売却した。Iowa Fertilizer Company LLC は2013年に完成・稼働された新型の総合窒素肥料工場で、生産能力はアンモニア2425トン/日、尿素1320トン/日、尿素硝安液肥 (UAN) 4740トン/日で、年間170~220万トン窒素肥料を生産する。
- * カナダのエネルギー天然資源大臣 Jonathan Wilkinson 氏はカナダの2024年重要鉱物リストを発表した。りん酸塩が重要鉱物リストに追加され、重要鉱物として指定されることになった。